

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 鹿嶋市立大同西小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	6年生：28名 5年生：26名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	・スポーツに関する興味・関心を高め、スポーツを楽しむ心とともに生涯スポーツに関わることのできる心情を育成する。 ・オリンピックのすばらしさや意義等への理解を深めるとともに、オリンピック開催地の一員としてオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。
5 取組内容	【オリンピック・パラリンピック教育推進事業】 「オリンピック・パラリンピックの魅力を知ろう！」のテーマのもと、5・6年生を対象に、鹿島アントラーズクラブスタッフ（クラブ・リレーションズ・オフィサー）の中田浩二氏によるオンラインでの講義を実施  6年生の実施の様子 【各学年でのまとめ】 ・5年生 オリンピックで行われる競技について調べる。 ・6年生 将来の自分の夢に向けて、大切にしたいことを考える。 ○それぞれのテーマのもと、総合的な学習の時間を用いてまとめの活動を行った。

	【事後活動】 ○ 購入したフラフープを利用してサッカーと同じ「ゴール型ゲーム」のバスケットボールの活動を行った。ボールを持たないときの動きを意識し、児童は楽しく取り組むことができた。  ○ サッカーに親しむために、カラーコーンを使ったドリブルゲームを行った。 細かいボールタッチが必要なため、初めはドリブルに苦戦する児童が多かったが、徐々にドリブルがうまくなれるようになり達成感を味わえた。 
6 主な成果	○ 児童の物事へのとらえ方の意識の変化 ・マイナスに物事を考えるのではなく、プラスに物事を考えていこうとしている。 ・失敗を恐れずにチャレンジしていこうとしている。 ・何事にも努力することを忘れずに取り組んでいこうとしている。 ○ オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心の高まり。 ・鹿嶋市で行われるサッカー競技に関心をもつ児童が増え、実際にサッカーに取り組む姿が見られた。 ・オリンピック・パラリンピックに携わりたいと考える児童が多く見られた。 ・オリンピック・パラリンピックで実施される競技について関心をもつ児童が増えた。 ○ 外国語活動への意識の変化 ・授業中に積極的に会話しようとする児童が多く見られた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	○ 鹿嶋市を拠点としているプロサッカーチームである鹿島アントラーズの中田浩二さんによる講義によって、より児童の興味・関心を高めるようにした。 ○ 鹿嶋市で開催されるオリンピック競技のサッカーと関連のある内容で事業を行うことで、2021年開催予定のオリンピック・パラリンピックに直接関わっていきたいという心情を育むようにした。
8 主な課題等	○ 今回はコロナ禍での開催であったため、オンラインによる講義であったが、可能であれば広いスペースなどを利用して一緒に体を動かす活動を取り入れたい。 ○ 事前に自分が興味をもつ競技について調べたり、講師のことについて調べたりする学習をしてから講義に臨めば児童がより目的意識をもって活動に取り組むことができたと思う。
9 来年度以降の実施予定	○ オリンピックだけでなくパラリンピックに関しての講義や体験等も取り入れていきたい。